



せたがや区議会だより

No.246

平成26年(2014年)7月19日

発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030

http://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai/index.html

多間小改築工事請負契約などを可決 第2回 定例会



二子玉川駅周辺での災害時帰宅困難者対策訓練

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から14件、議員から1件の案件が提出されました。議員提出議案1件を賛成少数で否決し、その他の全ての議案は可決しました。また、農業委員の推薦も行いました。

●工事請負契約の締結 9件

○多間小改築工事 (全員賛成)

工事名	相手方・契約金額
改築	大明・小俣 建設共同企業体 一八億二九六万円
電気設備	米沢・由井 建設共同企業体 一億八〇八万円
空気調和設備	大立・経栄 建設共同企業体 三億一七五二万円
給排水衛生設備	温調・スズキ 建設共同企業体 一億一四二二万円

○太子堂小改築工事 (全員賛成)

工事名	相手方・契約金額
改築	神興・本間 建設共同企業体 一七億八八二万四千円
電気設備	大雄・カコイ 建設共同企業体 二億五三八〇万円
空気調和設備	田口・大曾根 建設共同企業体 二億六五八八万円
給排水衛生設備	大橋・コート 建設共同企業体 一億八三〇万四千円

○大蔵運動場温水プール改修工事 (全員賛成)

工事名	相手方・契約金額
改修	株式会社中秀工業 二億五七四万七千円

工期 27年3月13日

特別区道路線の認定

5件

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
野共産緑 野共産緑 野共産緑 野共産緑 野共産緑

所在地	延長(m)
給田3-14~15	109.43
給田3-12	85.89
給田3-9	157.23
南烏山6-5~12	199.56
南烏山4-8~9	60.58
南烏山4-6~7	70.87
南烏山4-3~4	157.00
南烏山3-1~	344.66
南烏山4-1	163.27
上北沢4-21~22	139.26
上北沢4-20	104.21
上北沢4-13~20	147.40
上北沢4-5~11	190.54
赤堤5-39~	82.25
桜上水4-14	45.40
松原3-42	34.39
松原3-37~35	72.50
松原2-33	185.14
松原2-40	190.56
松原1-42	136.41
松原1-50	142.74
松原1-56	70.37
松原1-57	119.08
松原1-58	33.49
大原2-29	63.43
大原2-29	62.40
南烏山5-36~	41.97
上祖師谷-38	125.45
南烏山5-32	38.04
南烏山5-17	44.46
南烏山5-16	24.66
南烏山5-15	16.71
上北沢3-33	59.17
上北沢3-32	66.01
桜上水5-32~33	115.23
桜上水5-27~28	119.21
桜上水5-24~26	95.96
桜上水5-24	48.71

所在地	延長(m)
松原2-22~45	161.80
所在地	延長(m)
松原2-27~25	—
所在地	延長(m)
南烏山5-3	369.50
所在地	延長(m)
南烏山5-9~13	—

〈6ページへ続く〉

党派名等

自民 自由民主党世田谷区議団
 公明 公明党世田谷区議団
 生ネ社 生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団
 共産 日本共産党世田谷区議団
 民主 世田谷民主党
 F行革 無所属・世田谷行革110番
 緑 無党派・緑
 新風 新風21
 減税 減税世田谷
 虹 レインボー世田谷
 世田谷 世田谷無所属
 あらた 未来あらた世田谷
 みんな みんなの党
 無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

代 表 質 問

6月10日及び11日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議員

畠山 晋一議員



区政運営に対する区長の決意

質問 新たな基本計画などが始まる26年度当初に、議会に十分な報告もなく海外視察に行く区長には、緊張感や議会軽視の反省が感じられない。区政運営への決意を示せ。

区長 議会と議論を重ね、理解を得ながらよい政策を着実に進める。本庁舎の全面改築への決断

質問 区長が本庁舎整備に係る方針を示さずに区民意見の聴取に終始しているのは、混乱を招くだけだ。区民会館などのありようも明らかになり、全面改築を直ちに決断せよ。

区長 庁舎の基本構想策定の中で、多角的な検討を進め適宜判断する。震災に備えた実践的な訓練の実施

質問 首都直下地震への対策を強化すべし。地域や地区の実情を反映したシミュレーションを行い発生確率の高い事象を特定し、より実践的な訓練を実施せよ。

危機管理室長 具体的な場面を設定し関係機関との訓練を検討する。生涯未婚率の上昇への対応

質問 50歳時点で婚姻歴のない人の割合を示す生涯未婚率が20年前に比べ上昇している。地域活性化などへの影響が懸念される中、長期的な視点でどう対応するのか。

政策経営部長 国の調査結果など、今後の生涯未婚の動向を注視する。私立幼稚園の新制度移行への支援

質問 子ども・子育て支援新制度では、私立幼稚園は新設の施設型給付を受けるか現行の私学助成を受けるかの選択が必要となる。的確に判断できるよう支援せよ。

副区長 的確に判断できるように、正しい情報を迅速に提供する。児童相談所の移管への取り組み

質問 児童相談所の23区への移管に向けた都との協議が進んでいない。移管を実現して迅速に児童虐待に対応するため、23区が一層連携し、移管の意義などを明示せよ。

区長 23区への移管を積極的に位置づけ移管後の機能を内外に示す。災害時の拠点施設の機能確保

質問 梅ヶ丘拠点などの災害時に本部機能を持つ施設の整備では建物の構造を工夫すべし。免震構造とするなど、発災直後から設備を継続して使えるよう万全を期せよ。

政策経営部長 耐震手法などを総合的に判断し、機能の確保を図る。地域包括ケアシステムの構築

質問 区は地域包括ケアシステムの全区域展開を目指しているが、人材の育成など、体制づくりに係る課題は多い。まずはモデル実施の結果を十分検証し、着実に進めよ。

副区長 モデル実施の検証、評価を十分踏まえシステムを構築する。災害に強いまちづくりの推進

質問 区には多くの木造住宅密集地域があるため、震災時に火災の延焼による甚大な被害が懸念される。建物の不燃化対策の強化に加え、火災予防の啓発にも力を注ぎ、都市整備部長 災害に強いまちづくりを総合的に推進していく。

小田急線上部利用での地域活性化 小田急線上部利用などを地域活性化につなげるべきだ。連立事業の進捗に合わせて施設を着実に整備するとともに、下北沢駅周辺の都市計画道路の整備を進めよ。

副区長 連立事業におくれずに早期整備が行えるよう全力を尽くす。国土や領土に関する教育の充実

質問 中学校学習指導要領解説の一部改訂を踏まえ、生徒が日本の国土や領土を正しく理解できるように工夫すべし。日本全国などを活用し、授業内容を充実せよ。

教育長 日本全国などを活用し正しく理解できるように指導している。区立図書館運営の完全民営化

質問 電子書籍の普及などで図書館のあり方が問われる中、民間による図書館運営を行う自治体が増えている。質の高いサービス提供に向け区も運営を完全民営化せよ。

教育政策部長 27年度から民間活カ力導入を目指し計画的に取り組む。

公明党世田谷区議員
佐藤 弘人議員



地域包括ケアシステムの体制整備

質問 地域包括ケアシステムには、円滑な情報共有や支援の仕組みが必要だ。地区に地域包括支援担当の職員を置き、そのもとにあしんすこやかセンターを位置づけよ。

区長 地域行政推進本部での検討などを踏まえ、総合的に判断する。地域での認知症高齢者の見守り

質問 行方不明となる認知症高齢者が多い。地域の団体が連携し、徘徊する高齢者への声かけや保護を行う大牟田市の例に倣い、地域全体での見守りの体制をつくれ。

区長 商店街や公衆浴場などの見守りの協力体制を一層広げる。新教育センターの整備

質問 新教育センターは区立校への多様な支援を行う拠点として整備すべし。教員研修の機能を軸に、保護者の教育相談や不登校への対応などの機能も充実せよ。

教育長 教員の資質向上や家庭への支援の拠点として充実を図る。区立図書館への民間活力の導入

質問 まちのにぎわいを生み、区民の活力を高める図書館改革を実現すべし。民間活力の導入に向け、全ての図書館を対象に、民間による立地状況などの調査を行え。

教育政策部長 民間活力導入を目指す計画的に取り組むを推進する。多様な手法での保育待機児解消

質問 地域の実情やニーズに合った手法で保育待機児解消を図るべきだ。子ども・子育て支援新制度への移行に伴い、ゼロ歳児保育の新たな拡充など多様な施策を行え。

副区長 小規模保育事業などの多様な手法で、待機児解消に努める。低所得高齢者への住宅の確保

質問 高齢者が安心して住める住まいの確保は重要だ。空き室を活用した団地のリノベーションを図る都市再生機構などと連携し、低所得高齢者向け住宅の拡充を図れ。

都市整備部長 区営住宅による供給を基本に多様な手法も検討する。「環境配慮学習館」の創設

質問 新たな環境エネルギー事業を展開すべし。子どもが再生可能エネルギーについて学べる「環境配慮学習館」を創設せよ。

環境対策室長 設置例のある小井町の例などを調査研究する。がん対策推進条例の実効性の担保

質問 がん対策推進条例制定への決断を評価する。実効性のある条例となるよう、がん検診の受診率向上や患者の生活の質の向上などに向けた具体的な目標を設定せよ。

副区長 他自治体の事例収集などに努め、実効性ある目標を定める。工事予定価格の客観性の担保

質問 適正な入札制度の整備に向け、公共工事の予定価格の客観性を担保すべし。予定価格の積算チェックは内部での確認だけでなく、民間事業者などを活用せよ。

施設整備部長 委託は難しい面があり、職員の積算能力向上を図る。生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議員

てるや 里美議員 平和教育の一層の推進

質問 集団的自衛権行使容認が閣議決定されようとする中、日本の役割は平和外交による世界の平和構築だ。対立する意見を対話で解決する力を高める平和教育が必要。

区長 次世代への戦争体験の伝承などの課題にしっかりと向き合えよ。子どもの貧困対策の強化

質問 子どもの貧困は、子どもの成長や将来への影響、支援につながりにくいなどの課題がある。区は実態把握に努め、対策を進めよ。

子ども・若者部長 次期子ども計画の策定の中で検討を進めていく。ヤングケアラーへの支援

質問 病気や障がいがある家族を介護している18歳未満の子どもの教育や就職が制限されるなど、多くの課題を抱えている。区はニーズを把握し、必要な支援を行え。

高齢福祉部長 可能な限り実態把握に努め、支援策を検討していく。妊娠期からの切れ目のない支援

質問 年々増加する児童虐待に対応するには、妊娠期からいかに支援につなげるかが重要だ。妊娠期からの相談体制を充実するなど、切れ目のない支援体制を構築せよ。

子ども・若者部長 切れ目のない支援の仕組みを庁内連携で検討する。区における障がい者雇用の拡充

質問 区は身体障がい者を職員採用しているが、知的障がい者や精神障がい者の雇用は短期間のチャレンジ雇用のみだ。職員採用せよ。

障害福祉部長 人事所管と非常勤職員化に向けた検討を進める。学校給食の放射性物質検査の充実

質問 今年度より給食の放射性物質検査の一食丸ごと検査の回数が増えられた。給食の安全を守るため、最低でも2学期までには食料単品検査の項目をふやし充実せよ。

教育次長 新たな食材の検査について秋ごろの実施に向け調整する。日本共産党世田谷区議員

中里 光夫議員 街づくりは住民合意を基本に

質問 京王線連立事業に係る都市計画道路の区道認定は拙速だ。街づくりは住民合意が基本という区長の表明にも反する。強引なやり方を撤回し住民合意を基本とせよ。

副区長 今後も区民に丁寧に説明し住民参加のまちづくりを進める。実効性ある公契約条例の制定

質問 以前区が示した公契約に関する条例素案には労働条件の改善に係る条項がなく、実効性に欠けていた。条例制定に際しては、労働報酬下限額などを盛り込み、より実効性のある手法を検討する。

財務部長 条例制定に向け、より実効性のある手法を検討する。川場村ハイキング放射能汚染状況

質問 我が川場村移動教室ハイキングコースの放射線量を測定した結果、高い値を確認した。調査、公表、ハイキングの見直しをせよ。

教育次長 専門家の評価などから、安全に実施できると判断した。地区毎に小規模特養等の整備

質問 地域包括ケアシステムの実現に向け、高齢者の生活を地域で支える拠点を充実すべし。小規模特養ホームや小規模多機能型施設の全地区への整備を促進せよ。

高齢福祉部長 整備が進むよう、事業者への働きかけなどを行う。地区の人員体制の強化

質問 高齢者が地域で住み続けるために、地区の体制強化が必要だ。相談体制の充実や多様な支援のための連携強化に向け、出張所やまちづくりセンターの人員をふやせ。

地域行政部長 地区でのモデル実施の状況を踏まえ検討を進める。介護保険法改正への対応

質問 法改正で介護保険の要支援者への訪問介護300人、通所介護160人が区の事業に移行する。サービス後退や利用者負担増とならないよう訪問介護をどう実施するのか。

高齢福祉部長 利用者負担に配慮し、多様なサービスを検討する。認可保育園整備の着実な推進

質問 今後5年間の目標である700人分の保育定員枠拡大に向け、認可保育園の整備を着実に進めるべきだ。保育の質を維持しながら財源や用地の確保などに全力を注ぎ、副区長 保育の質の維持や向上と保育定員の拡大に全力で取り組む。

保育の質を担保する条例の制定 株式会社などの認可保育園運営への参入に際し、営利追求による質の低下が懸念される。子ども・子育て支援新制度に係る条例に保育の質を担保する基準を盛り込め。

子ども・若者部長 条例に施設や事業の運営基準を規定する予定である。区民需要増大に伴う職員体制強化

質問 増加する生活保護受給者への対応や保育待機児対策を初め、区政のさまざまな分野で業務が増えている。安定したサービスの提供に向け、職員体制を強化せよ。

総務部長 今後も力強い組織づくりに意識した人員配置に取り組む。

代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様を
ホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継 で検索！

世田谷民主党
風間 ゆたか議員



両親学級の土日開催の拡大

質問 私が議会で提案した後に実施となった出産前両親学級の土日開催は、希望者が多く抽選だと聞く。希望者が参加できるよう土日開催の回数をふやすなど工夫せよ。
保健所長 26年度は休日開催の実施回数を30回から36回にふやす。
乳幼児健診の実施体制改善

質問 働く親が乳幼児を健診に連れて行きやすい環境を整えるべきだ。受診率向上のためにも週末や駅近くでの実施など改善に取組め。
保健所長 休日実施は難しいが、会場の工夫など改善策を検討する。

学童クラブのスペースの確保
質問 子ども・子育て支援新制度で学童クラブは定員40人と示されたが、学童待機児童が出ないようスペースの拡大などに取組め。
子ども・若者部長 区立小と一層連携し、必要なスペースを確保する。

PTA改善の指導をせよ
質問 PTA運営補助を行う以上、区はPTA活動に係る予算の適切な使い方を指導すべきだ。カラケンという研修会名目の旅行への支出などは見直すよう指導せよ。
教育政策部長 ガバナンスに留意し、主体的な取り組みを尊重する。

川場移動教室の高放射線対応
質問 ハイキングコースの放射線量測定をしたが、大幅な除染基準超過が複数箇所であった。場所を変えないなら高線量地を避け、引率教員への放射能教育を行え。
教育政策部長 引き続き、教職員が確かな指導を行うよう取り組む。

外郭団体天下り廃止と経営者公募
質問 外郭団体への天下りを廃止し、経営者は公募すべきと要求してきたが、最も問題がある赤字続きのサービス公社社長人事を何故か元区役所幹部の天下りとしたのか。
政策経営部長 区政の経験が豊富な人材が適切と区長が判断した。

無所属・世田谷行革110番
田中 優子議員



オランダ視察での私的取材の疑義

質問 区長は公費でのオランダ視察後、コラムを新聞社に寄稿し、NPO主催のシンポジウムにも参加した。視察の中で、これらのための私的取材を行っていたのか。
区長 世田谷の教育施策の一層の充実を目的とした公務である。
視察をもとに得た原稿料の返還

質問 区長は海外視察の内容をコラムに寄稿して原稿料を得たため、視察が100%公務であったか疑問だ。区長が得た原稿料は、私的取材に要した費用として区に返還せよ。
区長 コラムに寄稿することは問題なく原稿料返還には当たらない。

本庁舎改築の際の仮設庁舎候補地
質問 本庁舎改築の際に前川建築を残すのならば、区民会館の敷地以外に仮設庁舎の建設地が必要となる。候補地などほかにあるのか。
総務部長 現時点では適地は見出せておらず、調査を継続していく。

本庁舎全面改築の早急な決断を
質問 首都直下地震の発生が危惧される今、一部改築ではなく全面改築による本庁舎の災害対策本部機能の強化が急務だ。全面改築を決断し、基本構想の策定を急げ。
総務部長 適宜適切に区長の判断を仰ぎ、鋭意検討する。

過度なシンポジウム参加の弊害
質問 区長は就任以来、積極的にシンポジウムに参加しているが、3年間で約200回は多過ぎる。区長としての仕事は滞っていないのか。
区長 シンポジウムなどでの経験を踏まえ区政運営に全力を尽くす。

がやがや館の経営改善策を
質問 がやがや館の経営改善は喫緊の課題だ。糖尿病などへの対策として注目され、需要が高い糖質制限メニューを施設内のレストランで提供し、集客力向上を図れ。
生活文化部長 集客策の一つとして、指定管理者に伝える。

一 般 質 問

6月11日及び12日の本会議では、24名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

桃野 よしふみ議員
(F行革)



良質な土を使用した公園整備

質問 広場に入れる土に係る基準がないため、二子玉川公園のみどりの遊び場に砂利などを含む土が混入した。公園整備の際に安全に配慮した土を使う仕組みを整えよ。
答弁 整備の際は広場の表土に良質な土を使用するなど対応を図る。
せたがやiMapの検索機能改善

質問 災害に備え、区民への給水拠点の周知が重要だが、区のホームページにあるせたがやiMapの検索機能では給水拠点の全てを表示させることは難しい。改めよ。
答弁 iMapの操作や検索の方法の改善を関係部署が検討する。

災害時の飲料水提供方法の工夫
質問 区は第3庁舎の災害時利用井戸で5万人分の飲料水を確保しているが、広範囲への配布が難しい。支所で井戸を整備するなど、区民への飲料水の提供方法を工夫せよ。
答弁 さまざまな手法を駆使し、区民の利便性の向上に努める。

和田 秀壽議員
(自 民)



介護予防活動の場の確保

質問 介護予防の活動は、高齢者が歩いて行ける範囲内の施設で継続的に行うことが重要だ。活動団体が区立校の空き教室などを定期的に利用できるよう、支援せよ。
答弁 関係所管が連携し、会場を確保する方策を工夫していく。
介護予防活動への専門職の派遣

質問 介護予防の取り組みに、栄養や口腔機能に関する指導を組み合わせると一層効果が高まる。区は医療機関などと連携し、活動団体に専門職を積極的に派遣せよ。
答弁 活動の充実に向け、専門職との連携について検討していく。
在宅子育て支援の強化

質問 区の0・2歳児のうち、在宅で養育されている割合は7割を超えており、在宅子育てへの支援

は保育施設整備と並ぶ重要課題だ。在宅子育て支援の強化に力を注げ。
答弁 多様な施策を通じ、在宅子育て環境のさらなる整備に努める。

小泉 たま子議員
(新 風)



まちづくりセンターの機能の充実

質問 区民生活は福祉や防災などの行政の分野別には分けられない。縦割り行政を排し、区民に最も身近なまちづくりセンターで区民の生活全体をしっかりと受けとめよ。
答弁 まちづくりセンター機能のあり方について、さらに検討する。
地域での公共的浴場機能の充実

質問 ひとり暮らし高齢者が増加する中、身近な地域での公共的浴場機能の充実が重要だ。地域にある各種施設での浴場機能を積極的に活用するなど、創意工夫せよ。
答弁 福祉施設では課題があるが、民間施設の活用なども検討する。

歩いて暮らせるまちづくりの実現
質問 歩いて暮らせるまちづくりを実現すべきだ。東名ジャンクション周辺地区のまちづくりに当たっては、まちに必要な機能を洗い出し、明確なビジョンを示せ。
答弁 26年度中にまちづくりの基本的な方向性を示す予定である。

板井 斎議員
(公 明)



中町周辺での豪雨対策強化

質問 25年7月に中町と上野毛周辺で豪雨による深刻な道路冠水被害等が発生した。中町小と玉川中のグラウンドに雨水を引き込むための雨水貯留施設などを整備せよ。
答弁 教育委員会と連携しながら、実現性を含めて調査検討を進める。
仮称等々力大橋整備への対応

質問 片側2車線の車道を備えた仮称等々力大橋の整備に伴う地域の分断や環境の悪化が懸念される。交通安全対策やまちづくりへの配慮に万全を期すよう、都に求めよ。
答弁 地域との話し合いの場の設置や情報提供を都に働きかける。

介護予防事業の拡充

質問 和光市では介護予防に重点を置いた包括的なサービスの提供で、要介護認定率が低下した。これに倣い、区も運動機能向上などに向けた介護予防事業を拡充せよ。
答弁 活動場所や頻度、新しいメニューなどについて検討を進める。

すえおか 雅之議員
(みん な)



地方税法違反の認識はあるのか

質問 区が地方税法の解釈を誤って特別区民税における還付加算金を算定したため、支払い不足が発生した。これは地方税法違反であると認識しているのか。
答弁 地方税法の規定に反した加算金の算定をしたと認識している。

認可保育園の着実な整備
質問 保育待機児の解消に向けた認可保育園の定員拡大の目標を26年度も達成できなければ、区長の政治責任は重大だ。目標達成に向けた具体的な手法を示せ。
答弁 民間の建物を活用した提案型の認可保育園などの整備を図る。

認可保育園整備遅延への対応
質問 27年4月に開設予定の認可保育園の整備がおくれることを懸念する。定員拡大の目標達成のために、緊急対応としてフレハブでの園舎建設への区の考えを問う。
答弁 建てかえ周期の短さなどからフレハブでの対応は困難である。



改修が決定した総合運動場の温水プール

問 質 一 般



リニューアルオープンした野毛青少年交流センター

ひつち 優子議員 (世田谷)



自転車保管所の再編

質問 放置自転車の台数が年々減っている中、経費削減や土地の有効活用の観点から、自転車保管所を再編すべきだ。桜新町の自転車保管所を駐輪場に転換せよ。

答弁 自転車の放置台数の推移などを見据え、有効活用を検討する。専門家を活用した法教育の推進

質問 学校教育の中で法律や規則の背景にある原則や法的なものの方を教えることは重要だ。他自治体に倣い、法律の専門家を活用して法教育の授業を充実せよ。

集中豪雨対策の強化

質問 昨夏の集中豪雨による甚大な浸水被害の発生を踏まえ、対策を強化すべきだ。先の議会で土のうを配布するなどの即効性ある対策を求めたが、対応状況を示せ。

答弁 土のうのステーションを順次設置するなど、被害軽減に努める。

唐沢 としみ議員 (生ネ社)



区民参加の推進に向けた方策

質問 基本計画に掲げる区民参加の推進に向けた取り組みについて、実施計画には具体的な方策が示されていない。区民と一丸となって何から進めるのか具体的に示せ。

答弁 防災塾や身近な福祉の相談窓口の構築で区民参加を充実する。若者が地域で活躍できる場の拡充

質問 若者の真の自立には、社会の中にしっかりと位置づけられている実感を持てる必要がある。若者が地域活動に参加し、活躍できる仕組みづくりを一層進めよ。

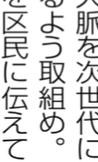
答弁 地域との連携を図り、社会参加への仕組みづくりに努める。

野毛青少年交流センターの活用策

質問 歴史ある社会教育活動の拠点だった青年の家が新たに野毛青少年交流センターとしてスタートした。若者の「地域参画のモデル施設」として積極的に活用せよ。

答弁 事業のあり方などの議論を踏まえ新たな事業展開を検討する。

あべ 弘幸議員 (自 民)



地区の防災マップの作成

質問 災害時に地域住民が協力して円滑に防災活動を行うには、地区の防災マップが不可欠だ。消火栓などの防災資源を掲載した詳細な防災マップを作成し、配布せよ。

答弁 町会などでマップ作成の動きがあれば、適切な支援を行う。

質問 24年に認知症の疑いのある行方不明者が全国で1万人近くに上り、そのうち200人以上は行方不明のままであると聞く。区内での認知症の行方不明者の現状を示せ。

答弁 区内では25年度時点で行方がわからない高齢者はいない。社会科の教科書採択の方針

質問 社会科の教科書は、歴史や領土問題などに関して学習指導要領解説に沿った内容とすべきだ。教科書採択に際し、記述内容を十分に考慮して適正に選定せよ。

答弁 検討委員会などの調査研究を踏まえ適正かつ公正に採択する。

上川 あや議員 (虹)



全額自費のがん先進医療に支援を

質問 国が認めたがんの先進医療41技術は全てが自己負担だ。「金の切れ目が命の切れ目」が現実だ。治療しやすい環境整備に向け当該医療ローンに利子補給等すべきだ。

答弁 がん患者及び家族への支援について検討していく。

避難誘導のユニバーサルデザイン

質問 私の提案を入れ、聴覚障害者等にも災害発生を知らせる赤色回転灯が本庁舎に整備されたことは評価する。しかし同様の配慮は他施設にも必要だ。どう取組むか。

答弁 北沢支所と砧支所への赤色回転灯の設置を予定している。

郷土史専門家の全員退職について

質問 郷土の歴史を深く知る学芸員が、あと数年で全員定年退職を迎える。個々の職員が長年培って

被曝リスクの川場移動教室中止を

質問 川場移動教室で行うハイキングの行路ではいまだに高い放射線量が測定されており、子どもの内部被曝が危惧される。予防原則の観点から川場移動教室は中止せよ。

答弁 5月に放射線量を測定し、安全に実施できると確認している。

桜井 純子議員 (生ネ社)



男性高齢者の閉じこもり予防対策

質問 閉じこもりがちな男性高齢者への閉じこもり予防への取り組みは孤立の予防にもつながる。デイサービス内容の工夫を事業者に求めるなど、取り組みを強化せよ。

らぶらす運営への区民参画の保障

質問 男女共同参画政策を推進する上で、区民参画の視点は欠かせない要素だ。政策推進の拠点であるらぶらすの運営に区民が参画できる仕組みをしっかりと構築せよ。

答弁 区民や団体参加の仕組みを一層工夫するなど機能充実を図る。

同性間におけるセクハラへの対応

質問 男女雇用機会均等法施行規則改正で、職場でのセクハラに同性間によるものも含むことなどが記された。性的マイノリティーへの配慮を含め、どう対応するのか。

答弁 職員研修などで他者への理解を深めるよう取り組んでいる。

青空 じつじ議員 (無所属)



民生委員に求める新たな役割

質問 区が構築を目指す地域包括ケアシステムの中で民生委員に大きな負担を強いれば、民生委員の担い手不足は一層深刻化する。区はどのような役割を期待するのか。

答弁 区民と行政の橋渡し役や地域福祉の推進役を期待している。

花見堂小の跡地活用への地域要望

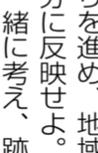
質問 区は花見堂小の跡地活用の検討に当たり地域と跡地活用検討ミーティングを行っており、5月

に中間報告会を開催した。ここで

質問 多世代が交流できる施設にしてほしいなどの要望が多かった。

答弁 花見堂小跡地が新たな地域コミュニティの拠点となるよう取り組むべきだ。区は地域と一緒に進め、地域の希望や要望を十分に反映せよ。

上山 なおのり議員 (自 民)



障害者雇用促進協議会活動の拡充

質問 区は産業団体などと連携して障害者雇用促進協議会を設立し、フォーラムなどを通して障害者雇用の促進を図っている。一層の雇用促進に向け、活動を拡充せよ。

子どもの体力向上への取り組み

質問 運動会などで子どもがけがをする背景には、子どもの体力低下が密接にかかわっているのではないかと考える。子どもの体力向上に区はどのように取り組んでいるのか。

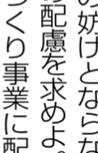
答弁 第2次教育ビジョンで体力向上などの取り組みを一層進める。

区の防災事業への配慮

質問 狭あい道路拡幅で後退が必要な住宅にサービス公社はさんざん事業で太陽光パネルを設置したと聞く。建てかえの妨げとならないよう防災事業への配慮を求めよ。

答弁 区の防災街づくり事業に配慮してもらえよう公社に求める。

中塚 さちよ議員 (民 主)



学生の力を生かした地域課題解決

質問 大学生の関心と地域ニーズのマッチングを図り、大学生の地域貢献を促進すべきだ。区内大学との包括協定の締結を進め、大学生の力を地域課題の解決に生かせ。

答弁 区内の大学へ呼びかけるなど、より積極的に連携を図る。

介護人材の確保に向けた取り組み

質問 区内では介護人材が不足している。病院や介護施設では不規則勤務があるため、職場に近い場所に住めるようせたがやの家を優先的に紹介し、人材確保に努めよ。

答弁 勤務地と居住地の近接が重要な介護人材などに一層PRする。「おひとりさま」の老後への備え

質問 老後を単身でも生き抜く力を若年時から身につけることが重要だ。地域で安心して暮らし続けられるよう、老後の備えやネットワークづくりの支援を行え。

答弁 区民や関係団体と連携を図り、多様な取り組みを検討する。

三井 みほこ議員 (自 民)



野川改修における自然環境の保全

質問 次世代を担う子どもに残したい自然環境として、多くの区民がきれいな水辺を挙げている。野川の改修に際し、自然環境の保全に配慮した整備を都に求めよ。

答弁 環境を保全するため区民の声を今後もしっかりと都に伝える。

区立小での動物飼育活動の充実

質問 子どもが命あるものを大切にすることを育むためには、動物との触れ合いによる情操教育が大変効果的だ。区立小において動物の飼育活動への支援を充実せよ。

答弁 区立小での動物飼育支援活動モデル事業などを実施する。

私立幼稚園の運営への支援

質問 子ども・子育て支援新制度の施設型給付における仮の公定価格の水準は低く、私立幼稚園が安定して運営を行えるか懸念される。都との連携も視野に十分支援せよ。

答弁 国や都と協議しながら安定的な運営ができるよう支援する。



一 般 質 問

高橋 昭彦議員
(公 明)



主要な道路への通称名の追加設定

質問 道路に通称名を設定することで、目的地への移動や災害時の避難の際の道しるべとなる。赤堤と桜上水を結ぶ補助54号線などの主要な道路にも通称名を設定せよ。
答弁 道路通称名の追加設定について今後検討に着手していく。

ストリートスポーツの場の確保

質問 若者がスケートボードなどのストリートスポーツを身近な地域で行える場を確保すべきだ。騒音などの課題の解決に向け工夫し、二丁に定める場の整備を進めよ。
答弁 多様なニーズに応えられるよう関係所管が連携して研究する。

水治療室の今後の位置づけ

質問 総合福祉センターの水治療室での訓練は関節疾患や運動器の障害のリハビリに有効だ。運動器症候群予防の場としてセンター廃止後も必要な施設と位置づけよ。
答弁 改修経費などの課題を踏まえ、利用者の意見も聞き検討する。

佐藤 美樹議員
(あした)



人口動態を踏まえた待機児対策

質問 区の年少人口は転入によりふえている。転入は区でコントロールできないため、保育需要への臨機応変な対応が必要だ。機動性のある小規模保育事業を活用せよ。
答弁 小規模保育事業なども活用しながら保育待機児解消を図る。
認知症カフェ等の拡充
質問 認知症高齢者やその家族などが集い情報交換することは、認知症の進行抑制や家族の精神的負担の軽減につながる。区は認知症カフェ等の拡充に向けて取り組みを。実施に向け、一層準備を進めよ。
オープンデータの取り組みの推進
質問 行政情報を活用可能な形で開放するオープンデータの取り組みは、行政の既存の枠組みを越

えるだけでなく区政への関心を高める契機となる。積極的に進めよ。
答弁 区内での推進体制の整備や必要なルールづくりを進めていく。

高岡 じゅん子議員
(生不社)



川場移動教室における安全対策

質問 川場移動教室は、放射線量が区内における除染の基準値以下の活動環境で実施すべきだ。空間放射線量を継続的に測定し、結果を安全対策にしっかりと生かせよ。
答弁 継続して測定を行い、必要に応じてさまざまな対応を図る。
小学生に対する放射線教育の充実
質問 川場移動教室の実施に当たっては、子どもが放射線から自身自身を守るための学習が必要だ。事前学習などの機会を捉え、小学生への放射線教育を充実せよ。
答弁 授業の際に、放射線に関する内容を学習できるように取り組む。

災害時の支援受け入れ体制の整備

質問 災害時に他自治体から受け入れる支援を最大限に生かすための仕組みが必要だ。神戸市の例に倣い、事前に支援を必要とする内容を具体化し、受け入れ体制を整備せよ。
答弁 応援の要請や受け入れの方法などについて検討していく。

公共施設マネジメントの工夫

質問 区民サービスの向上に向け、区内の連携を強化して区施設の運営を工夫すべきだ。区民ニーズを捉えて施設の複合化や多機能化を一層進め、利便性向上につなげよ。
答弁 公共施設整備方針に基づき、施設の有効活用を積極的に進める。
HPV検査とABC検査の導入
質問 がん予防の取り組みを強化すべきだ。がん発症のリスクの把握につながる、子宮頸がんのHPV検査と胃がんのABC検査を区のがん検診に導入せよ。
答弁 国の動きなどを注視し、がん予防の取り組みに努める。

福田 妙美議員
(公 明)



新たな緊急物資輸送拠点の検討

質問 災害時に区が都からの緊急物資を受ける地域内輸送拠点が、区西部の端にある大蔵第一運動場だけでは不十分だ。輸送路の遮断なども想定し、拠点をふやせよ。
答弁 複数の支所の集積地を拠点に位置づける方向で都と協議する。
道づくりプラン策定の方針
質問 区は道づくりプランを策定したが、優先整備路線に係る内容に目新しさは薄く、主要生活道路

妊娠期からの母親への支援強化

質問 子どもの虐待予防には、妊娠期からの取り組みが重要だ。妊娠届の提出時のアンケートを最大限に活用し、不安を抱える母親を保健師などが訪問して支援せよ。
答弁 関係部署が連携し、妊娠期からの切れ目のない支援に努める。

津上 仁志議員
(公 明)



シティプロモーションの推進

質問 観光振興に向け、シティプロモーションを戦略的に推進すべきだ。映画などの撮影を誘致し、地域活性化などにもつながるフィルムコミッションに取り組みよ。
答弁 シティセルスの推進体制の検討の中で鋭意検討する。

防犯カメラ維持管理費補助の拡充

質問 防犯カメラの設置は犯罪の抑止に大変有効だが、維持管理費が負担となるため設置を断念する商店街もあると聞く。商店街などへの維持管理費の補助を拡充せよ。
答弁 多くの団体が設置に向け積極的な検討ができるよう工夫する。

上馬・野沢地区の不燃化の促進

質問 都の不燃化特区制度で特区に指定された地区と同様、上馬・野沢地区の不燃化も重要だ。特区に指定するよう都に求めつつ、新たな手法の導入も視野に取り組みよ。
答弁 他区と連携して新たな支援策を研究し都への働きかけを行う。

石川 征男議員
(自 民)



豪雨対策強化に向けた都との連携

質問 都の豪雨対策基本方針改定素案では、谷沢川と丸子川への取り組みの強化が示された。下水道雨水管整備の受託を拡大するなど、都と連携を強化して対策を進めよ。
答弁 雨水管整備の受託拡大など、対策が円滑に進むよう連携を図る。
谷沢川と丸子川の流域対策の強化
質問 都の豪雨対策基本方針改定素案を踏まえ、谷沢川と丸子川の流域対策を着実に進めるべきだ。区の豪雨対策行動計画に改定内容を反映し、対策を強化せよ。
答弁 都の素案を確認し流域対策の強化などの方策を検討している。
がん検診の受診率向上の取り組み
質問 がん対策を進める上で、いかに早期にがんを発見し、治療に結びつけるかが大変重要だ。がん患者の増加を踏まえ、がん検診受診率の向上に積極的に取り組めよ。
答弁 目標と大きな差がある胃がん検診などの体制充実を検討する。

に係る内容は後退した感さえある。新たな視点をどう盛り込んだのか。
答弁 防災性向上に寄与する都市計画道路の整備を重点化した。

民有樹林地保全の取り組みの強化

質問 樹林地は良好な生活環境の維持などに寄与するが、区内の大規模な樹林地が減少している。市民緑地制度などの活用を一層促進し、民有樹林地の保全に努めよ。
答弁 300㎡以上の樹林地所有者へ制度を直接紹介し、保全を進める。

新川 勝二議員
(自 民)



豪雨対策強化に向けた都との連携

質問 都の豪雨対策基本方針改定素案では、谷沢川と丸子川への取り組みの強化が示された。下水道雨水管整備の受託を拡大するなど、都と連携を強化して対策を進めよ。
答弁 雨水管整備の受託拡大など、対策が円滑に進むよう連携を図る。
谷沢川と丸子川の流域対策の強化
質問 都の豪雨対策基本方針改定素案を踏まえ、谷沢川と丸子川の流域対策を着実に進めるべきだ。区の豪雨対策行動計画に改定内容を反映し、対策を強化せよ。
答弁 都の素案を確認し流域対策の強化などの方策を検討している。
がん検診の受診率向上の取り組み
質問 がん対策を進める上で、いかに早期にがんを発見し、治療に結びつけるかが大変重要だ。がん患者の増加を踏まえ、がん検診受診率の向上に積極的に取り組めよ。
答弁 目標と大きな差がある胃がん検診などの体制充実を検討する。

桜井 稔議員
(共 産)



三軒茶屋駅のエレベーターの増設

質問 三軒茶屋駅南口には地上と改札階を結ぶエレベーターがなく不便だ。駅のバリアフリーに係る国のガイドラインの改定を機に、東急電鉄に設置を強く働きかけよ。
答弁 東急電鉄が実測調査を行うと聞くが、今後設置を要請する。

区内駅のバリアフリー化の促進

質問 駅の主要出入口が複数存在する場合、その全ての経路をバリアフリー化する旨の国の方針が示された。これを機に、区内駅のバリアフリー化を一層促進せよ。
答弁 複数経路での確保に向け、今後も鉄道事業者に働きかける。

就学援助の費目単価の引き上げ

質問 消費税増税により、就学援助を受給している世帯では学用品購入額と助成額との差額が家計を一層圧迫している。就学援助の支給費目の単価を引き上げよ。
答弁 国や他区の動向や社会経済状況の変化などを踏まえ検討する。

あべ 力也議員
(減 税)



区職員の3人に1人が非常勤職員

質問 区には非常勤職員が多いが報酬は職務経験に関係なく一律のため、他区に倣い経験年数や能力などを加味して勤労意欲向上につなげるべきだ。区長の見解を示せよ。
答弁 他区の例を参考に、課題を検証して改善に努めていきたい。

非常勤職員の報酬は正規職員の1/3

質問 区は非常勤職員の活用を進めており、実質的に正規職員と同様の業務を遂行している例もある。同一価値労働同一賃金の原則に基づき非常勤職員の報酬を設定せよ。
答弁 役割や職務の内容を踏まえ、適正な人員配置を進めていく。

非常勤職員の7割区民、9割女性

質問 非常勤職員は区内在住の女性が多く納税者ともなるため、非常勤職員の報酬額は区財政にも影響を及ぼす。非常勤職員をふやすのならば、処遇の改善に取り組みよ。
答弁 非常勤職員が一層生き生きと働けるよう、環境改善に努める。

区議会を傍聴してみませんか

本会議や常任委員会、特別委員会は、どなたでも傍聴できます。ぜひお越しになり、直接、会議の様子をごらんください。

傍聴席は、本会議では69席、委員会では6席（予算・決算特別委員会では12席）用意してあります。車いすでの傍聴もできます。

本会議や委員会の開催日については、区議会ホームページでご確認いただくか、区議会事務局にお問い合わせください。なお、定例会の会期については、区のおしらせにも掲載しています。

◇傍聴する場合

区議会事務局の傍聴受付で住所と氏名を記入し、傍聴券の交付を受けてください。

◇傍聴のお問い合わせ先

区議会事務局庶務係
TEL (5432) 2772
FAX (5432) 3030



第3回定例会は9月中旬から開催する予定です

↑ページからの続き↓

●議員提出議案

○解釈改憲による集団的自衛権行使容認を行わないよう求める意見書

賛成少数 野田 龍彦、藤田 隆、山本 浩一、山本 浩二、山本 浩三、山本 浩四、山本 浩五、山本 浩六、山本 浩七、山本 浩八、山本 浩九、山本 浩十、山本 浩十一、山本 浩十二、山本 浩十三、山本 浩十四、山本 浩十五、山本 浩十六、山本 浩十七、山本 浩十八、山本 浩十九、山本 浩二十、山本 浩二十一、山本 浩二十二、山本 浩二十三、山本 浩二十四、山本 浩二十五、山本 浩二十六、山本 浩二十七、山本 浩二十八、山本 浩二十九、山本 浩三十、山本 浩三十一、山本 浩三十二、山本 浩三十三、山本 浩三十四、山本 浩三十五、山本 浩三十六、山本 浩三十七、山本 浩三十八、山本 浩三十九、山本 浩四十、山本 浩四十一、山本 浩四十二、山本 浩四十三、山本 浩四十四、山本 浩四十五、山本 浩四十六、山本 浩四十七、山本 浩四十八、山本 浩四十九、山本 浩五十、山本 浩五十一、山本 浩五十二、山本 浩五十三、山本 浩五十四、山本 浩五十五、山本 浩五十六、山本 浩五十七、山本 浩五十八、山本 浩五十九、山本 浩六十、山本 浩六十一、山本 浩六十二、山本 浩六十三、山本 浩六十四、山本 浩六十五、山本 浩六十六、山本 浩六十七、山本 浩六十八、山本 浩六十九、山本 浩七十、山本 浩七十一、山本 浩七十二、山本 浩七十三、山本 浩七十四、山本 浩七十五、山本 浩七十六、山本 浩七十七、山本 浩七十八、山本 浩七十九、山本 浩八十、山本 浩八十一、山本 浩八十二、山本 浩八十三、山本 浩八十四、山本 浩八十五、山本 浩八十六、山本 浩八十七、山本 浩八十八、山本 浩八十九、山本 浩九十、山本 浩九十一、山本 浩九十二、山本 浩九十三、山本 浩九十四、山本 浩九十五、山本 浩九十六、山本 浩九十七、山本 浩九十八、山本 浩九十九、山本 浩百

●農業委員会委員の推薦

(全員賛成)

区議会として、**畠山晋一議員**(自民)、**藤弘人議員**(公明)を区長に対して推薦する。

請願

皆さんから新しく出された請願・陳情をお知らせします。

◆**企画総務常任委員会に付託** 1件
○閣議で集団的自衛権の容認を決めることに反対する決議を求める陳情

◆**福祉保健常任委員会に付託** 1件
○手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情

◆**環境・エネルギー問題対策特別委員会に付託** 1件
○カラスによる被害・迷惑の改善を求める陳情

議会日誌

閉会中に開催された委員会

5月22日(木) 議運
27日(火) 企画、区民、文教
28日(水) 福祉、都市
29日(木) 分権、災害、環境、交通
6月2日(月) 議運

会期中の主な会議日程

6月10日(火) 本会議(代表質問)、議運
11日(水) 本会議(代表質問、一般質問)、議運
12日(木) 本会議(一般質問、議案の付託、議案の議決、請願の付託など)
13日(金) 企画、区民、文教
16日(月) 福祉、都市
17日(火) 分権、災害、環境、交通
19日(木) 本会議(議案の議決、請願の付託など)、議運

委員会名称

企画=企画総務常任委員会 区民=区民生活常任委員会
福祉=福祉保健常任委員会 都市=都市整備常任委員会
文教=文教常任委員会 議運=議会運営委員会
分権=地方分権・地域行政制度対策等特別委員会
災害=災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会
環境=環境・エネルギー問題対策特別委員会
交通=公共交通機関対策等特別委員会



熱中症対策の取り組み(左:まちづくりセンターなどに設置された「お休み処」、右:液晶温度計付きの「熱中症予防シート」と「涼風マップ」)

新しくなったインターネット議会中継をぜひごらんください

議会中継は世田谷区議会ホームページの「議会中継」からごらんください。

5月よりインターネット議会中継ページをリニューアルし、よりわかりやすくご利用できるようになりました。臨場感のある会議の様相をぜひごらんください。

再生画面



会議の内容や質問項目が、画面の右側に表示されます。

ライブ中継の映像は会議終了後、当日のうちに録画映像として配信します。また、会議のあった日からおおむね1週間後に、議員の質疑ごとに編集した映像を配信します。

編集後記

○今定例会では、30名の議員が、地域包括ケアシステムの構築に向けた体制づくりや災害対策の強化など、区政のさまざまな課題について質問を行いました。

○区議会定例会は、2、6、9、11月の年4回開かれます。本会議や予算・決算特別委員会が開催される際には、その模様をホームページでライブ中継するほか、区役所第1、第3庁舎、総合支所、市民活動支援コーナー(キャロットタワー3階)のテレビでも生中継します。また、ホームページではお好きな時間に「ごらんいただける録画配信も行っています。ぜひごらんください。

○区議会だよりのテープ版とデジタル(CD-ROM)版を発行しています。視覚障害のある方などで希望される方には定期的にお送りいたしますので、ご希望の際は区議会事務局調査係までご連絡ください。また、区立図書館では過去1年以内に発行された区議会だよりのテープ版とデジタル(CD-ROM)版を貸し出していますので、ぜひご利用ください。

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。



本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容については、会議録(9月上旬発行予定)をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。